

ヘルペス体験

高森
保

日曜の夜 就寝したものの眠れない

胸が押し潰^{つぶ}されるような痛み

左ではないから心筋梗塞ではないだろう

この頃流行のコロナ禍 オミクロン感染？

体温計出して計ってみる 平熱

面倒なことはないと寝に就くが痛みは起きる

小用に十回も立って夜明け

痛みは頭にも上がって 頭が割れそう

腫れた頭をかかえると髪の毛一本一本が

ズキンズキンと痛み出す

上半身裸になってみると 肩から背中へ右腕から胸へと赤い発疹

これ带状疱疹か

皮ふ科二階の診察室 女医さんの言葉

まちがいありません 別名ヘルペス 無理なさって過労から起きたのでしょ

安静にお過ごしを

光線を浴び塗り薬塗ってもらって処方箋

一日三回食後と就寝前の四回の飲み薬

飲み薬は自分で白湯を準備して服用できるが

問題は一日二回の患部への塗り薬

「薬塗ってくれんね」に

「頼み方が悪い」の「気安く塗ってくれる人の所へ行けばいい」と

家族は厭味たつぶりの言葉を浴びせ

上半身裸で震えあがっている

ああ あの日曜日無理したとは思わなかった

午前中は走ろう会のジョギング10キロ

午後は観光ボランティアの町なか探訪研修で

一日の歩数二万五千歩

それが火傷やけどのような痛みにおそわれる

何が因果かな

〔附記〕

ヘルペス発症は二二年二月二十八日。翌日、皮膚科病院で診察治療を受け、皮膚の発疹は一、二週間で消えたが、痛みは一年近く服薬を続けた今も残っている。